

脳神経外科 初期研修プログラム

必ず習得するアウトカム

1. 脳神経外科疾患の診察が出来る
2. 脳神経外科疾患の患者管理ができる
3. 脳神経外科疾患の緊急疾患に対応できる

研修目的

脳神経外科の臨床医としての役割を理解し，脳神経外科疾患の診断および治療についての知識，診療手技を身につける。

研修目標

- ◇ 一般目標
脳神経外科臨床医としての役割を理解し，脳神経外科疾患の診断・治療についての知識，診療手技を身につける。
- ◇ 行動目標
患者の病歴を適切に聴取し，理学的・神経学的診察を行うことができる
患者に必要な検査を適切に施行し解釈することができる
脳血管障害・頭部外傷および脳神経外科救急疾患に対して適切に対応することができる
- ◇ 研修期間中に経験可能な疾患・疾病、および手技
疾患・疾病：
脳血管障害，頭部外傷，てんかん，脳腫瘍
手技：以下の手技を指導医とともに行うことができる
髄液検査（腰椎穿刺），創傷処置，てんかんに対する処置，脳血管撮影，穿頭術・開頭術（主に脳卒中・外傷による頭蓋内血腫，水頭症），
顕微鏡手術の助手(5例)

研修方略

頭痛，めまい，失神，けいれん発作，麻痺および失語などの神経症状を有する症例を経験し，意識障害，脳血管障害，頭部外傷，てんかん，脳腫瘍などの治療に参加し，原則として病棟回診を指導医・上級医とともに毎日行う。

外来診察においては指導医・上級医の支援を受けてともに診療に当たる。

処置・手術においてはできる限り指導医・上級医のもと助手として参加し，術者として施行できるようになることを目指す。

研修評価

知識についてはレポート，プレゼンテーション，レクチャーにて評価する。

技能については診察，技術に関して観察記録（カルテ記載），スケールにて評価する。

態度については観察記録評価を行う。

週間予定表

	午前	午後
月	症例検討会 外来診療	多職種カンファレンス 教授回診 血管撮影・血管内手術
火	症例検討会 外来診療	病棟回診
水	症例検討会 外来診療	病棟回診 血管撮影・血管内手術
木	症例検討会 手術・外来診療	手術
金	症例検討会 外来診療	合同カンファレンス 臨床実習レポート発表会

(表は、適宜加除修正ください。)

指導責任者および指導医

指導責任者： 佐々木達也 教授

指導医： 遠藤俊毅 准教授

〃： 針生新也 助教

〃： 高橋義晴 助教

学生（4～6年生）や他科研修中研修医のカンファレンスの参加の可否

参加可 ・ 参加不可

研修医発表会、学会発表に対する指導体制

指導医が学術的活動について指導を行い、院内発表会での適切な症例プレゼンテーションができることを目標とする。また、希望者については学会発表、論文発表の指導を行い対外的に発表を行うことも可能である。

同時期に受け入れ可能研修医数（1クール：1～3ヶ月）

2名/1クール